文化博物館だより

第551号
2020年2月6日

今回の博物館だよりは、2月2日に閉幕した明石市制施行100周年記念　冬季特別展「138億光年 宇宙の旅―驚異の美しさで迫る宇宙観測のフロンティア―」の関連イベント及び次回展覧会のご案内をお届けします。

明石市立天文科学館・井上館長によるギャラリートークを開催しました！（2020年1月25日）

火星について語る井上館長

天文科学館の井上館長をお迎えして、「138億光年 宇宙の旅」のギャラリートークを開催しました。美しい天体写真を見ながらユーモアたっぷりに宇宙の魅力を語ってくださいました。

木星があるおかげで地球に星がぶつからないことや、火星の夕焼けは青いこと、地球の命も限りがあることなど、、、不安になり静まり返ったお客様に、「大丈夫、まだ30億年ありますから！」と約80名のお客様は安堵され、会場は笑いに包まれました。予想を超えるお客様にお越しいただき、いらっしゃったお客様にはご不便をおかけしましたが、1時間を超える熱いギャラリートークをみなさん最後まで堪能してくださいました。ありがとうございました。

お子さんもたくさんお越しでした

2月9日より開催！明石市制施行100周年記念 企画展「くらしのうつりかわり展　子どもの頃の記憶」（2020年2月9日～3月22日）

台所道具（ひな飾り）

今回の「くらしのうつりかわり展」は「子どもの頃の記憶」と題して、昭和時代を中心に、子どもの目線から昔の暮らしを振り返ろうとするものです。2019年は「平成」から「令和」と時代がうつりかわり、明石市も市制100周年を迎えるなど節目の年でもありました。このような節目の年だからこそ、遠い過去となりつつある「昭和」時代を中心とした昔の生活や道具に目を向けてみてはどうでしょうか。

本展では、子どもたちの生活や遊びがどのようにうつりかわったのかを、当時の子ども達が「見て」、「使って」、「あこがれた」道具を通して振り返ります。過去の懐かしさを振り返るとともに、こんな道具もあったのかという目新しさも見つけていただけたら幸いです。

【関連イベント】

◆おっちゃんの紙芝居　※当日自由参加
日　時：3月7日（土）、14日（土）、21日（土）、22日（日）
　　14:00～（各回30分程度）
場　所：当館1階 体験学習室
演　者：阿部 元則氏（紙芝居師）

◆ワークショップ【手づくりおもちゃ教室】※事前予約制
日　時：3月15日(日)　14：00～（2時間程度）
場　所：当館2階大会議室
講　師：阿部元則氏
定　員：30名（対象：小学生以上。親子でご参加いただけます。）
参加費：300円(材料費)
【申込方法】
往復ハガキに「手づくりおもちゃ教室、参加者全員の氏名・学年、代表者の電話番号・住所、付添の有無」を記載のうえ下記まで。応募者多数の場合は抽選。
〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号　明石市立文化博物館
締切：3月6日（金）必着

ギャラリートーク　※当日自由参加
日　時：2月9日(日)　14：00～(20分程度)
場　所：当館1階特別展示室　講　師：当館学芸員

ワークショップ【ベーゴマで遊ぼう】※当日自由参加
日　時：2月15日(土)　11：00～12：00
場　所：当館1階体験学習室　講　師：当館学芸員

ワークショップ【ちょっと昔の遊びを楽しもう】※当日自由参加
日　時：3月8日(日)　11：00～12：00
場　所：当館1階ロビー　講　師：当館学芸員

ワークショップ【足踏み式ミシン体験】※当日自由参加
足踏み式ミシンを使って、布を縫ってみよう。
日　時：3月8日(日)　13：30～15：30
場　所：当館1階体験学習室　講　師：当館学芸員

明石市制施行100周年記念　企画展
「くらしのうつりかわり展　子どもの頃の記憶」
会期：2020年2月9日（日）～3月22日（日）※会期中無休
開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）
観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

おもしろい ぞう！ たのしい ぞう♪
来て、見て、発見！
ぶんぱくGO!!

詳しい展覧会情報は当館ＨＰをご覧ください。
http://www.akashibunpaku.com/